

# 近藤伸子 × Beethoven

## Kondo Nobuko Plays Beethoven I “Hammerklavier”

J. S. バッハに続くベートーヴェンシリーズ第1回  
初期の意欲作と後期の超大作を一夜で



Vn. 佐藤まどか



Pf. 近藤伸子



C. 藤森亮一

ピアノソナタ 第1番 へ短調  
*Klaviersonate Nr. 1 f-Moll Op. 2-1*

ピアノトリオ第1番 変ホ長調  
*Klaviertrio Nr. 1 Es-Dur Op. 1-1*

ピアノソナタ 第29番 変ロ長調 《ハンマークラヴィーア》  
*Klaviersonate Nr. 29 B-Dur Op. 106 "Hammerklavier"*

2019 3/5 (火) 19:00 開演

東京文化会館小ホール  
JR.上野駅 公園口前

一般 ¥4,000  
学生 ¥2,000 (全席自由)

■電話予約・お問い合わせ = 東京コンサーツ  
03-3200-9755 FAX 03-3200-9882  
www.tokyo-concerts.co.jp  
(東京コンサーツHPで予約, セブンイレブンで  
支払いと受け取りが出来ます)

■前売り = 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

■後援 = DAAD ドイツ学術交流会  
Deutscher Akademischer Austauschdienst

画: 近藤あき子《遐想》

このリサイタルは、国立音楽大学長期国外研究員の研究助成を受けた研究です



Piano

近藤伸子 KONDO Nobuko

国立音楽大学附属中学校・高校を経て、1980年東京藝術大学器楽科入学。同大学院博士課程修了。シュトックハウゼンのピアノ曲に関する論文と演奏で博士号取得。文化放送音楽賞受賞。1986～88年ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生としてベルリン芸術大学へ留学。最優秀の成績で卒業。A・シュナーベルコンクールで1位なしの第2位、受賞コンサートでの演奏は「ターゲス・シュピーゲル」紙で絶賛される。プゾーニ国際コンクール入賞。ベルリン交響楽団、東京交響楽団他多数のオーケストラと共演。現代曲や新作初演にも意欲的に取り組み、1993年にはリサイタルシリーズ《20世紀のピアノ曲》を開始。また、近年はJ.S.バッハの作品も集中的に取りあげ、特に2000年および2005年の《平均律クラヴィア曲集第1・II巻》全曲によるリサイタルは高い評価を得た。2015年第69回文化庁芸術祭優秀賞受賞。2017年4月より1年間、国立音楽大学長期国外研修員としてベルリンに滞在、研究。ピアノを井上初子、高良芳枝、安川加壽子、小林仁、K・ヘルヴィヒ、G・シェベック、室内楽をH・ピュイグロジェ、本荘玲子の各氏に師事。現在、国立音楽大学教授。  
http://www.kondonobuko.net/



Violin

佐藤まどか SATO Madoka

東京藝術大学附属音楽高校、同大学、同大学院博士後期課程修了。この間イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、2005年シベリウスの研究で博士号(音楽)を取得。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、プラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第2位(最高位)入賞、ロドルフォ・リビッツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位(1位なし)入賞。北海道文化奨励賞受賞。ウィーン・コンチェルトハウス、フィンランド・オウルンサロ音楽祭やシベリウス・イ・コルボ音楽祭への出演など欧米でも活躍。ALMレコードからシベリウスのヴァイオリン作品集vol.1『子守唄』、vol.2『ヴェレツェ』が、スウェーデンのBISのシベリウス全集第6巻に世界初録音がワールドリリースされ、ともに高い評価を受ける。現在、ソリストとしての活動を中心として、国内外において室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を行っている。澤和樹、沼田園子、B.カトーナ、浦川宜也、G.ボッセ、宗倫匡の各氏に師事。上野学園大学准教授。contemporary αメンバー。日本シベリウス協会理事。http://www.madokasato.com/



Cello

藤森亮一 FUJIMORI Ryoichi

京都市立堀川高等学校音楽科、東京音楽大学を経て、ミュンヘンに留学、ワルター・ノータスに師事。第29回文化放送音楽賞、第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位、第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門齋藤秀雄賞受賞。1987年NHK交響楽団に入団。「若い芽のコンサート」では同交響楽団とハイドンの協奏曲を共演し絶賛される。これまでに故徳永兼一郎、上村昇、河野文昭の各氏に師事。1998年には村松賞を受賞した。1999年、東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年よりチェロ四重奏「ラ・カールティーナ」を結成。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度アリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める他、モルゴア・カールテット、ボア・ヴェール・トリオ、チェロ・カールテットのラ・カールティーナの他、数多くのアンサンブルでも活躍。また東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学非常勤講師、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たっている。  
http://www.vc-fujimori.jp/

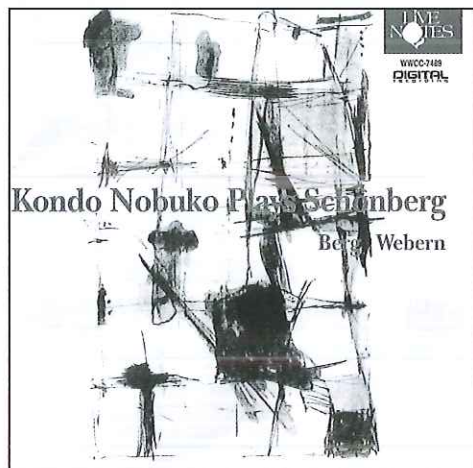
Kondo Nobuko Plays Bach シリーズの歩み

- I. 1998年 ゴルトベルク変奏曲 BWV988
- II. 2000年 平均律クラヴィア曲集第I巻 BWV 846-869
- III. 2005年 平均律クラヴィア曲集第II巻 BWV 870-893
- IV. 2007年 パルティータ BWV 825-830
- V. 2010年 イギリス組曲 BWV 806-811
- VI. 2011年 フランス組曲 BWV 812-817, フランス風序曲 BWV 831
- VII. 2014年 イタリア協奏曲, 3声・6声のリチェルカーレ(音楽の捧げもの) 他
- VIII. 2015年 フーガの技法 BWV 1080 他

20世紀のピアノ曲 シリーズの歩み

- I. 1993年 K. シュトックハウゼン:ピアノ曲 VII VIII X XI XII
- II. 1996年 K. シュトックハウゼン:ピアノ曲 V XV コンタクテ 他  
1998年 J. ケージ:ソナタとインターリュード 他
- III. 2002年 武満徹:フォーアウェイ, クセナキス:エヴリアリ 他
- IV. 2008年 K. シュトックハウゼン:ピアノ曲 XIII, ティアクライス 他
- V. 2010年 A. シェーンベルク: 浄夜(トリオ版), 3つのピアノ曲 他
- VI. 2012年 O. メシアン:世の終わりのための四重奏曲 他
- VII. 2014年 K. シュトックハウゼン: 自然の持続時間(全24曲)
- VIII. 2016年 K. サーリアホ:バラード, 田中カレン:クリスタリーヌ 他

CD 好評発売中

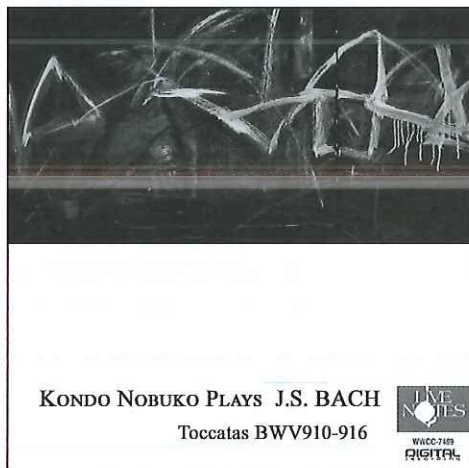


Kondo Nobuko Plays Schönberg\*  
WWCC-7489 (定価2,500円 税抜)

曲目  
シェーンベルク: 全ピアノ作品  
ウェーベルン: 変奏曲 Op.27, 子供のための小品  
ベルク: ソナタ Op.1

CD評  
全体に練り上げられた完成度の高い演奏で、数ある「新ウィーン楽派ピアノ曲集」のなかでも重要な一枚になるだろう。  
(三橋圭介氏評 - 音楽現代2005年5月号より)

\*在庫僅少ですが、NAXOS Music Libraryでも配信中です。  
ml.naxos.jp/album/WWCC-7489  
ml.naxos.jp/album/WWCC-7750



Kondo Nobuko Plays J. S. Bach - Toccatas\*  
WWCC-7750 (定価2,500円 税抜)

曲目  
トッカータ(全7曲) BWV910-916

CD評  
哲学的な相貌と思索的な趣があり、それと肉体的なダイナミズムや情熱が不思議なバランスで同居している。  
(那須田務氏評 - レコード芸術2007年6月号より)



Kondo Nobuko Plays J. S. Bach  
ALCD-9153 (定価2,500円 税抜)

曲目  
半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV903  
幻想曲とフーガ 一短調 BWV904  
3声・6声のリチェルカーレ《音楽の捧げもの BWV1079》より  
最愛の兄の旅立ちに寄せるカプリッチョ 変ロ長調 BWV992  
4つのデュエット VVW802-805  
イタリア協奏曲 へ長調 BWV971

CD評  
実に穏やかで深見のある美音と確かなテクニックで美しく演奏されているのだが、表面的に煌びやかなところは微塵も無く、ひたすら音楽に埋没したような、深い精神性を感じさせる表情に打たれる。  
(福本 健氏評 - 音楽現代 2015年11月号より)